

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客様に必ず本施工説明書と取扱説明書、保証書をお渡しください。
- お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

施工される前に

- 便器の使用水圧範囲は、最低必要水圧：0.05MPa（流動圧）から最高使用水圧：0.75MPa（静水圧）です。給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。温水洗浄便座は機種により、最低必要水圧が異なる場合がありますので、使用条件をご確認ください。
- 便器の洗浄水量は、自治体により行政上の立場から設置条件が決められている場合があります。その場合は所轄官庁の指示に従って設置してください。

安全に関するご注意

安全のために守ってください！

- 便器を安全に取付け、使用時の事故を回避するための重要事項をあげさせていただきます。
- 便器の取付け前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取付けてください。

用語の説明

- 警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態を生じることが想定されます。
- 注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態を生じることが想定されます。

警告

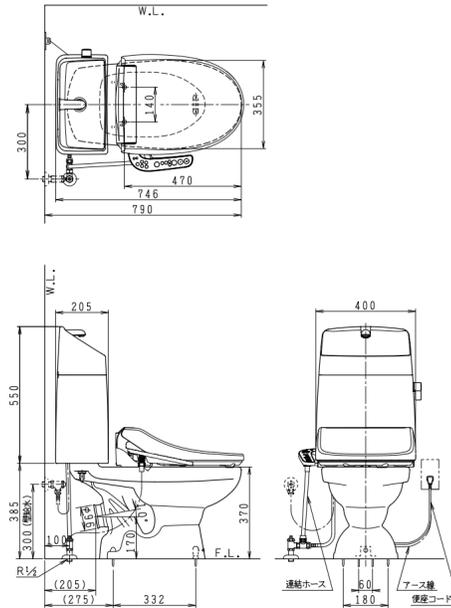
- 禁止** 水につけたり、かけたりしないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。
(100V電源使用の場合)
- 分解禁止** 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常動作してケガをすることがあります。
(100V電源使用の場合)

注意

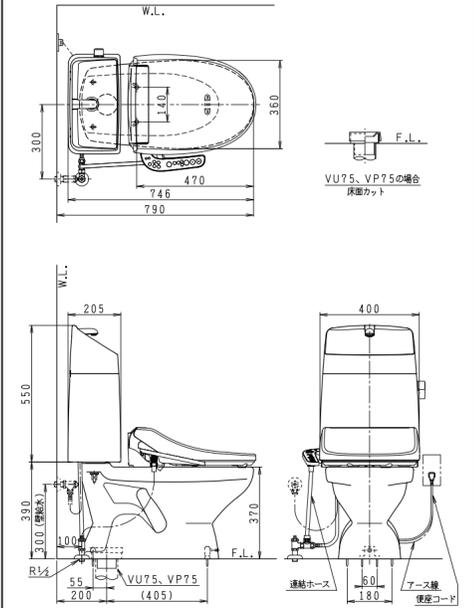
- 指示実行** 陶器は割れものです。
● 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
● 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。
- 指示実行** 止水栓の調整と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。
- 水かけ禁止** バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるとような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。
(100V電源使用の場合)
- 禁止** 交流100V以外では使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。
(100V電源使用の場合)
- 禁止** 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
(100V電源使用の場合)
- 指示実行** 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。
(100V電源使用の場合)
- 禁止** 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みが緩いときは使用しないでください。
※感電・ショート・発火の原因となります。
(100V電源使用の場合)
- 指示実行** お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす恐れがあります。

施工完了図

床上排水タイプ

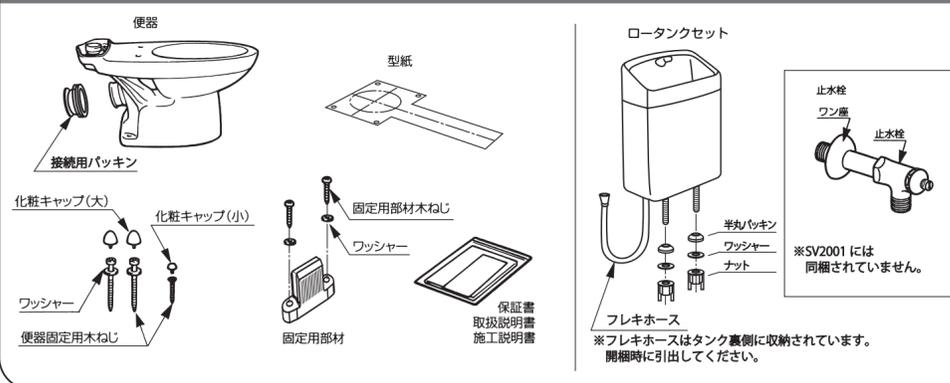


床下排水タイプ

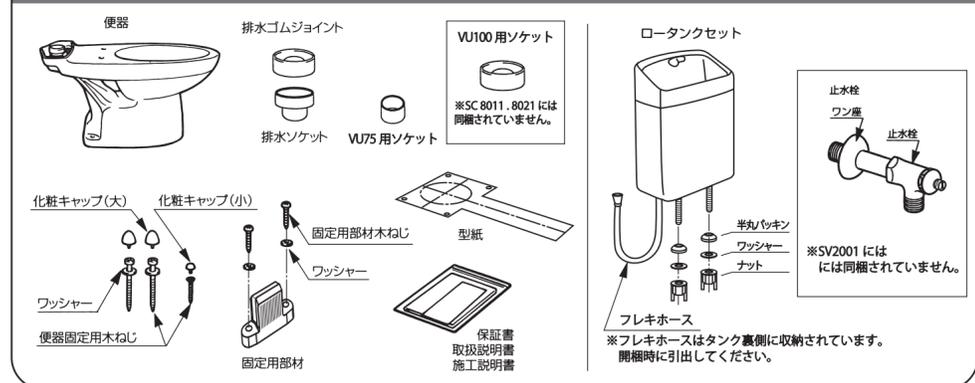


梱包内容

床上排水タイプ



床下排水タイプ



施工方法

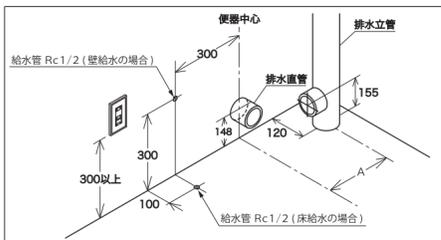
床上排水タイプ

1 給排水の位置決めと取出し

下図に従って、給水管、排水塩ビ管を取出します。

注意

便器を取付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ、排水塩ビ管にはビニール袋等でカバーをしてください。



2 便器の仮据

- (1) ベンド管を排水立管と便器に仮接続して便器の位置決めをします。この時接続用パッキンは取付けしないでください。
- (2) 便器固定用木ねじの下穴をあけます。床がタイルやコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。
- (3) 下穴をあけたら、便器とバンド管をいったんはずしてください。

注意

バンド管は別途用意してください。



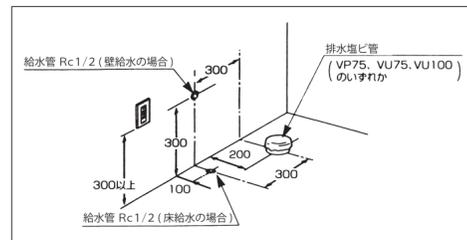
床下排水タイプ

1 給排水の位置決めと取出し

下図に従って、給水管、排水塩ビ管を取出します。

注意

便器を取付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ、排水塩ビ管にはビニール袋等でカバーをしてください。



2 排水塩ビ管の切断

- 壁、床の仕上げ完了後、排水塩ビ管を床仕上げ面で切断します。
- ※接続対応ができる排水塩ビ管の呼び径はVP75, VU75, VU100です。VP100は対応しておりません。

注意

切断面は床と平行になるように切断してください。
※切断位置が正確でないと漏水・臭気発生の原因となります。
床下への漏水防止のため床と排水塩ビ管の隙間をシールしてください。



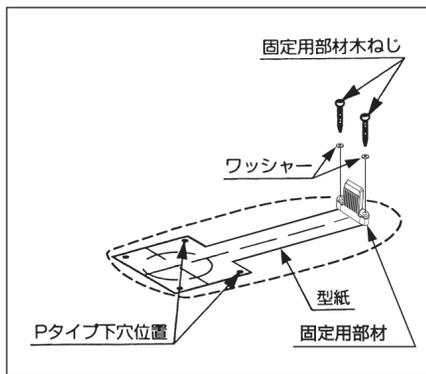
床上排水タイプ

3 固定用部材の取付け

- 便器固定用木ねじの下穴に型紙を合わせ(Pタイプ下穴位置)、図のように固定用部材の位置決めをします。
- 固定用部材を木ねじで固定します。床がタイルやコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。

注意

- 位置決め後、型紙を必ず取除いてください。



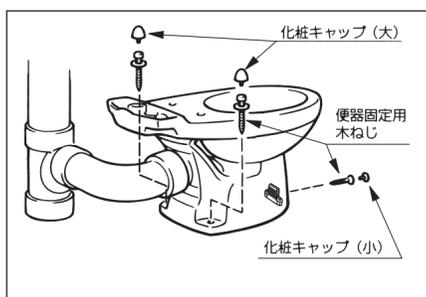
4 接続用パッキンの取付け・ベンド管の接続

- 便器の排水口に接続用パッキンを取付けます。
- ベンド管を排水立管と便器に接続します。
- ※接続用パッキンの表面とベンド管の内面に石けん水を塗ると接続が容易です。
- ※ベンド管は別途手配してください。



5 便器の取付け

- 便器の便器固定用木ねじにて、後方2箇所、前方1箇所(固定用部材側)の順に固定し、化粧キャップを取付けます。
- ガタつきの無いよう適度に締付けてください。
 - ※陶器に対してねじを締め過ぎると陶器が割れることがあります。



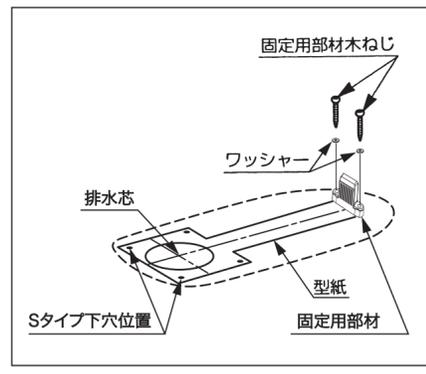
床下排水タイプ

3 固定用部材の取付けと便器固定用下穴の加工

- 排水管の芯に型紙を合わせ、固定用部材の位置決めと便器固定用木ねじの位置決めをします。
- ワッシャーを介し固定用部材を木ねじで固定します。
 - 床がタイルやコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。
- Sタイプ下穴位置で便器固定用木ねじの下穴をあけます。
 - 床がタイルやコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。

注意

- 位置決め後、型紙を必ず取除いてください。

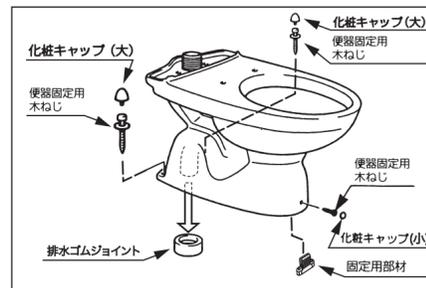
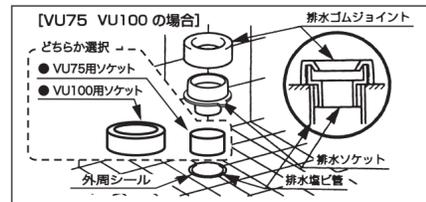
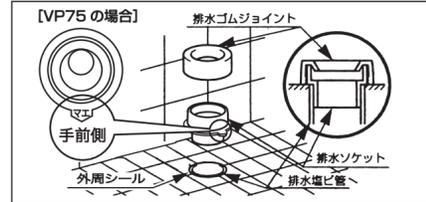


4 排水ソケットの取付け

- [VP75の場合]**
- 排水ソケットと排水塩ビ管に塩ビ接着剤を塗って接着します。排水ソケットの「マエ」表示が手前になるように合わせてください。
 - ※床面までしっかり差し込んでください。
 - 排水ゴムジョイントをしっかり奥まで押さえつけ排水ソケットに密着させ取付けます。
- [VU75 VU100の場合]**
- 排水ソケットとVUソケット(VU75またはVU100用)に塩ビ接着剤を塗って接着します。
 - 排水塩ビ管と、排水ソケットに塩ビ接着剤を塗って接着します。排水ソケットの「マエ」表示が手前になるように合わせてください。
 - ※床面までしっかり差し込んでください。
 - 排水ゴムジョイントをしっかり奥まで押さえつけ排水ソケットに密着させ取付けます。

注意

- 接着部は、きれいにして作業を行ってください。
- 接着は塩ビ管用接着剤をご使用ください。
- 接着は確実に行ってください。接着が不十分だと漏水、臭気発生の原因になります。
- 嵌合がゆるい場合はシリコンシーリング剤を使用してシール接着してください。
- 排水ゴムジョイントの取付が不十分だと、洗浄不良、漏水、臭気発生の原因となります。



床上排水と床下排水の共通

6 ロータンクの取付け

- ロータンク下面の密結ボルトからナット、ワッシャー、半丸パッキンを取り外します。
- ロータンク下面にある密結ボルトと便器のボルト穴を合わせてロータンクを設置します。このときフロート弁ねじの内径部にディストリビューターを挿入します。
- 半丸パッキン、ワッシャーの順に密結ボルトに差し込みます。
- ナットを密結ボルトにねじ込み、手でしっかり締め付けてください。
 - ※工具での過剰な締め付けはボルトを破損させる原因となります。

注意

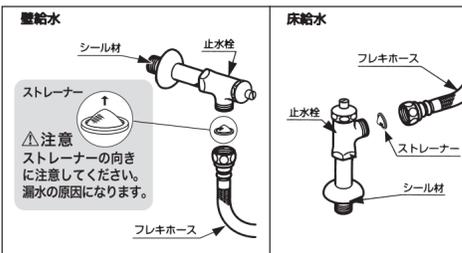
- ディストリビューターは、必ずフロート弁ねじ内径部に確実にめ込んでください。
- ※漏水の原因になります。
- ナットの締め付けは片利きの無いように左右交互に少しずつ行ってください。
- ※タンクが割れたり、ボルトが破損する恐れがあります。



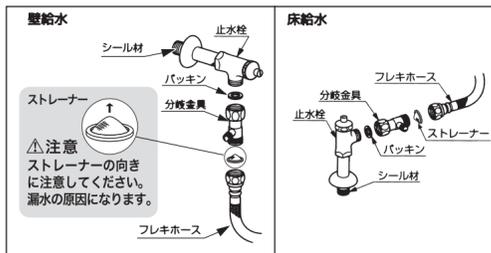
7 フレキホースと給水管の接続

- 給水管取出口に止水栓を取付けます。
- ねじ部にはシールテープ等のシール材を巻き付けてください。
- タンク底面から取り出したフレキホースを止水栓に取り付けます。
- ストレーナーを忘れないようにしてください。異物が入りますと、作動不良または故障の原因となります。
- ストレーナーにゴミカスなどが付着した状態のまま組み込んだり、ナットの締め付けが弱いと漏水の原因となります。

(普通便座・暖房便座仕様の場合)



(温水洗浄便座仕様の場合)



8 タンクふたの取外し・取付け

- 取外し
 - ①手前から持ち上げ、ふた裏のフックを外します。

注意

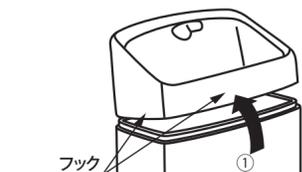
- 強く引き上げないでください。タンクふたとボールタップをつなぐ接続ホースが外れて漏水の原因となります。

●取付け

- ①手前側から奥へ押しながら、
- ②ふた裏側を押下げ、フックを本体に引掛けます。しっかり奥までかぶせてください。

注意

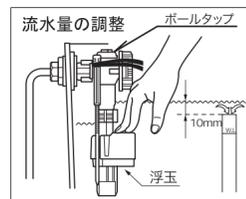
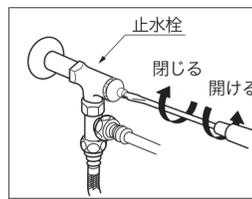
- ※はまりにくい場合はふたの間口を広げながらかぶせてください。
- ※ジャバラホースのゴムエルボを左へ傾けてからタンクのふたを取付けてください。
- ゴムエルボが直立した状態で取付けると内部干渉およびジャバラホースの影響により、タンクふたが浮きうまはまらないことがあります。



9 調整

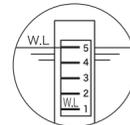
【流量の調整】

- 万一ボールタップが止水しない場合でもタンクから水があふれないようにするために、次の要領で必ず調整してください。
- (1) 止水栓を閉じます。
- (2) ボールタップの浮玉を押し下げながら、止水栓をゆっくり開きます。この状態から、
- (3) 水面がオーバーフロー管上端より10mm以上にならない程度に止水栓の開きを調整します。



【水位の調整】

- 流量を調整した後、タンクに給水し、止水位置がオーバーフロー管に表示されているW.L.に合うように浮玉を上下させて調整してください。最大W.L.5ラインまで調整できます。
- 床上排水タイプは、W.L.5に調整してください。洗浄性能、確保のためです。



- (浮玉の移動方法)**
- 浮玉調整支持棒を右に回すと水位が上がり、左に回すと水位が下がります。
 - ※ボールタップが傾いた場合は必ず垂直に直してください。

お願い

- ボールタップとタンク蓋をつなぐ接続ホースは、強く引っ張らないでください。
- 調整後は元の状態に戻してください。

10 便座の取付け 便座の施工説明書をご参照ください。

11 水漏れ点検

- (1) 洗浄ハンドルを操作して数回洗浄し、各接続部に漏水がないことを確認します。同時にフロート弁の開閉、ボールタップの作動、洗浄ハンドルの戻り具合等、ロータンク内部金具に不具合がないことを確認します。



- (2) 便器鉢内に長さ760mmのトイレットペーパーを丸めたもの7個を入れ、これが1回の洗浄で排出できることを確認します。
 - ※設置環境によっては、便器の性能が十分に発揮されない場合があります。その場合は、ボールタップの浮球位置を調整することで、洗浄水量を増やすことが出来ます。(9参照)
- 給水圧力が高い環境では、手洗吐水管からの吐水が飛び散るおそれがありますので、その場合は止水栓を少しずつ閉めて、適切な吐水状態へ調整してください。
- ※止水栓を動かした場合は、必ず給水量の調整をしてください。

注意

- 排水接続部の水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないことを確認が困難な場合があります。

12 低水圧時の処置

- 水の出が悪い場合やタンクへの給水時間が長すぎる場合、水圧が低いことが予想されます。以下の要領で、処置を行ってください。
- ①止水栓を閉め、タンク内の水を抜いてください。

ボールタップのフロート部が青色の場合

- ②カバーをボールタップ本体に対し、左回りに1/8回転して取付脚部から取外します。
- ③ボールタップ本体の中にある水量絞りプッシュを取外します。
- ④再びボールタップ本体を取付脚部に当てて、カバーを右回りにカチッと音がするまで回転させ取付けます。



ボールタップのフロート部が白色の場合

- ②給水ホースとアダプターを接続しているクリップカバーとクリップを外します。
- ③ボールタップからアダプターを外し、ボールタップ内部の定流量弁を取除きます。
- ④ボールタップへアダプターを取付け、給水ホースをクリップとクリップカバーで接続してください。



お願い

- カバーを回す時には、ボールタップ本体を押さえながら行ってください。
- 止水栓を動かした場合は、必ず給水量の調整をしてください。(9参照)

お願い

- アダプターを再び取付ける際、パッキンを入れ忘れないでください。

- ※作業終了後、ボールタップがまっすぐ取付いていることを確認してください。
- ⑤止水栓を開きます。

ジャニス工業株式会社

本社 〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 ☎(0569)35-3151